利内の事業所に、広報紙等を近用し告知します。また、該当する事業所へ直接案内するなどアプロ・

白馬村第5次総合計画 前期計画検証 検証シートの説明

第1回計画審議会では、今後の計画策定の進め方のほか、前期計画の検証を行っていただく予定となっています。 前期計画の検証の方法には、【資料5】「白馬村第5次総合計画前期計画の検証について」に記載をしてありますが、具体的には、【検証資料1・2】「総合計画事業評価シート」から、大きく乖離した事業を抽出した、【検証資料5・6】「総合計画前期計画検証シート」にある事業について説明します。

委員の皆様には、どのような事業があるか事前に資料のご 確認をいただければと思います。

基本目標

大分類

中分類

指標

目標(KPI)



暮らし 安心してみんなが暮らせる村

▶ 多様性を尊重し、住民が主体的に協働・共生する村づくり

住民参画と協

少子高齢・人口減少社会においては、地域に暮らす人々が地域の中で主体的に付づくりに参 関していくことが重要となります。行政選管への週間と参加を促すため、様々な媒体を活用し て行政情報を住民に提供するとともに、住民主活や名地域の課題に関する意見交換の場を設 けながら、住民、企業、NPO法人、ボランティア団体等が行うまちづくり活動に対して振動 的に情報提供や支援を行い、活動しやすい環境づくりを目指します。

行政区の主体的な取り組みの支援

本村では、古くから行政区を中心としたコミュニティを実成し、各行政区で伝統行事や 各種作業、施設の維持管理など相互扶助による住民区所行われ、信服と協力関係を築い 走ました。しかしながら、少予有齢化や人口類少、住民の多様に「個」を事業する社 会的変化により、行政区の加入率は低いとています。これからの行政区の意義やあり方を 利定義し、地区担当職員際改を送加して各行政区の選首や事業を支援することで、行政と 住民が協働する村立てりを解雇します。「機械型

指標	現状値 (H26 2014)	目標値 (H32 2020)
行政区加入率**	52%	80%
地域づくり事業補助金	全地区	全地区
※広報の配布	B数を住民基本台帳上の世帯数で除してL	1るので、実際の加入率とは異なります。

行政区の継続的な活動の支援

小規模行政区に集落支援員を配置し、農業・移動・除雪・祭り・若者定住など様々な活動を支援することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。(総務課・農政課・健康 福祉課)

##±##### 01	指 標	現状値 (H26 2014)	目標値 (H32 2020)				
来洛文坂貝数 U人 Z人	集落支援員数	0人	2人				

住民活動・NPO等の支

住民や白馬ファンの村づくり活動やNPO等の組織を積極的に支援するとともに、村づく り活動人口を増やし、多様な人が交流・参加する活力ある村づくりを推進します。(総務課)



評価シートは総合計画の 内容を抜き出し、実績が記 載されています。

検証シートは評価シート から大きく乖離した項目を 抜き出しています。 審議会で検証いただく内

容となります。

治山治水(国庫

てかのけづの

域防犯力の向

総務課

だく内

		日常の住みよさの確保	交通安全の推進	総務課	交通事故発生件数	34	34	42	31	46	25	白馬村の連安全協会、大司警察署、白馬交響等等係機関と連携し、地域や学校の要望を取り入れた 交通安全が解表行い、交通安全思想の普及を図がする。 また、近年増加している外国人に対しても、警察等の関係団体と協力して、日本の交通ルールの理解を求 めます。			l
			地籍調査の推進	無政策	地種調查消面模 (ha)	765	8	20	10	6		八力地区の北端21・22・23区は立会が困難ら区域であり、一部の立会や機場、閲覧以降の業務が残っています。新規区域に入っていく伏尼ではなく、事務処場に再念する必要があり合和2年度は整場の年とします。 下方修正 (848-836)			
	支え合う福祉 と健康の付づ くり		子育でに関する交流や 相談の場づくり	子育で支援課	"なかよし広場"利用 者数	1,764	1,664	1,656	1,583	1004	1,850	出生数の減少や本満年後有6拡大により利用者が減少しています。今年度から収録物のニーズがあり、決あられた日で ないつと自由に選択されるよりに自由が開発拡大した。、引き続き、別年のか子育で中の様子が知解に違ったり 子育でからないをから複数である単連側であり目的から能力ある事業に関係は努力など。			
			子育でに関する交流や 相談の場づくり	子育て支援課	子育で支援センター 相談件数	44	52	46	256	635	60	子育で世代包括支援センター開設に伴い、妊娠期から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さら に、母子保健事業を加え全ての子育で施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。	П		
			子育でと仕事の両立支援	子育て支援課	休日保育利用製飲	213	259	234	343	475	250	出生動は数年前に比べると減少していますが、観光差離が主産業である本村では、休日保育の開資は相 加しています。それに対応するため、通常動機をしている保育士が女代で休日保育の開発にあたっている状 次です。増加減的にある休日保存の需要に応えるには、保育士の提供が重要となるため、それら名含めて 保育事業の欠款に残るて参加ます。			
			障がい児支援	健康福祉課	児童通所給付利用 脊散	90	137	178	309	413	100	小谷村の事業所において新規事業開始したことにより、利用者が確加しました。必要な者がサービスを理実 に利用できることを重視します。	П	\neg	
		誰がい者支援	推刊擁護の体制づくり	健康福祉課	成年後見制度利用 立 標準 章	0	0	0	0	0	1	成年後見制度の利用はありますが、本事業の製当者はありません。	\neg	\neg	_
			人にやさしいまちづくりの 構造	保存保証数	居宅生活動作補助 用具支給作数	1	1	1	0	0	3	令和元年度は申請がありませんでした。			
	自立的・効率 的で健全な行 財政の付づく	2月	個人番号カードの曽及 及び活用による住民サー ビス向上	住民課	個人番号カード交付 率	-	7.06%	8.50%	9.95%	11.78%	20%	今年度末(今昭3年3月)か9個人最号カードで健康保険証機能が追加されます。 上記の広報を行ない個人最号カードの個及の促進に努めてきました。今年度も更なる個及に努めていきます。			
	9	行財政改革の推 進	財政健全化	総務課	将來負担比率	22.9%	28.3	36.20%	65.40%	-	30.0% 未	6月以降作成、公喪予定	П		
産業_新し 仕事をつく だす村		競争力と持続可 報性を高める観 光地経営	核となるスキー場と撤泊 拠点の再生	観光課	ウ <i>(</i> シターシーズン (12-3月) 観光客数(万人)	100	88	98	95	85	130	領冬・韓不足の影響と2月以降の新聞ニロナウイルス感染症の影響を受け、大幅減少となりなした。			
			地域特性を活かしたスポーツツーリズムの推進	生理学習 スポーツ課	白馬ジャンプ競技場 リフト景庫人数	74,061	49,341	56,948	54,673	55,660	83,000	GWBが、即席体となったことによる場合と、昨年第に比べ、リアト告報による環体目が成り増加しました。そ 期は映画機能による環体により、若干減・Pしました。目標連成に向け、改善点を見つけ、利用者を増やす 方針を思わます。			
			地域特性を活かしたス ポーツツーリズムの推進	生理学習 スポーツ課	FISサマーグランプリ ジャンプ大会来場看 数	6,580	5,880	13,390	4,300	3,500		国際大会の開催にいては、長野県・長野県ノギー連盟・白馬村パキーララブで開催に加すて誘致に取り組んさおないたが、今後は、東京2020年リビックの開催や予算理保など単しくなるため、次世代の選手 育成の創設のための大会を実施します。			ı
	農地と森を守 り産地を活か す村づくり	優良農地の保全	認定職業者への支援	無政策	原業機械等購入機 B)件数(累計)	-	8	7	5	6	30	無準への投資は機械の関入や更新が大力な立て不を占めます。国際報告はリードルが作っ高くポイント制 のため大型無業者が優先となっていよいます。通常の認定無業者が無地を守っていることになっ支援は継続的 に必要です。			
		森林整備と活用	森林整備地域活動文 授	無政策	森林整備面積(公 共造林事業) (ha)	5.1	2.4	4.58	14.7	13.4	60→ 40	存林ブリ県 原紀を活用た廊寄作整備(1.97ha)、山仕事創造会による際仪等(9.43ha)、林葉経 常有協会による森林整備(2.0ha)を実施しました。今後6計画的に森林整備を継続していきます。			
	により雇用を 生み出す付づ くり		新いしての製出	総務課	サテライトオフィス企業 数	-	総務省や企業 と打合 (6国)	1	1	0	1	平成30年度末までルウェービレッジをササライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が製造 い、現在は本社企業は社 (ルク株式会社) となっています。地域の近常といている株式会社より2社に施 終の貸し出した行い空さスペースの活用も行っています。デレクークの利用客を増えているため、引き続き村 用格の確認に切けた施帆を進めます。			
ひと一人 とりが成長 活躍できる	し スポーツに親 付 しむ付づくり	力の創造	スポーツによる健康増進	生理学習 スポーツ課	週1日以上スポーツ をする人の割合	40%	-	-	-	- 1	46%	ライフステイルヤニーズ、価値観が多様化しているため、消導者との連携により数率の参加者等の増加を行ったうえて調査を実施します。			
自然_期力 る自然を守	あ 守るべきふる る さとの歴史と	養山・スキーの 歴史・文化の様			週1〜2回スキーをす る小学生の割合	29.0%	-	ı	-		33.0%	スポーツニーズの多様化により、ウインタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や 係る回数を増やすための検討をしたうえて調査を実施します。			
Ħ	文化の継承	*	登山・スキーの歴史・文 化の継承	生理学習 スポーツ課	週1~2回スキーをす る中学生の割合	20.8%	-	-	-		24.0%	スポーツニーズの多様化により、ウインタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や 係る回数を増やすための検討をしたうえて調査を実施します。			
	1	I			週1~2回スキーをする成人の概念	8,7%	-		_	-	10.0%	スポーツニーズの多様化により、ウインタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や 係る回数を増やすための検討をしたうえて調査を実施します。	-T	$ \top$	